

受験番号

◎ 指示があるまで開かないこと。

令和7年2月12日 午後用

第76回獣医師国家試験 学説試験問題 (B)

注意事項

1. 問題数は80問であり、解答時間は2時間である。
2. 解答方法は次のとおりである。

〔1〕 各問題には5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを1つだけ選び、次の例にならって答案用紙にマークすること。なお、1問につき2つ以上マークした場合には、そのうちの1つが正答であっても誤りとして取り扱われる。

(例) 問81 我が国で獣医師国家試験事務を受けもっている省はどれか。

1. 厚生労働省
2. 文部科学省
3. 農林水産省
4. 外務省
5. 国土交通省

正答は「3」であるから、答案用紙の

81 E 1 ☐ E 2 ☐ E 3 ☑ E 4 ☐ E 5 ☐のうちE 3 ☑を横線で、
81 E 1 ☐ E 2 ☐ ~~E 3 ☑~~ E 4 ☐ E 5 ☐とマークすれば良い。

〔2〕 答案用紙のマークには、必ずHBの鉛筆を使用し、次の良い例のとおり、塗りつぶさずに線を引くこと。

良い例…… 悪い例……

〔3〕 答えを修正する場合は、必ずプラスチック製の消しゴムで完全に消し、消し跡や消しクズが残らないようにすること。消し方が悪いと採点されないの
で注意すること。

〔4〕 答案用紙は、折り曲げたり、メモやチェックなどで汚したりしないよう特
に注意すること。

問1 喘息の治療薬はどれか。

- a プロプラノロール
- b アスピリン
- c エナラプリル
- d テルブタリン
- e オザグレル

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問2 下痢治療薬の作用機序に関する記述として適切なのはどれか。

- a タンニン酸は腸粘膜の表面に被膜を形成する。
- b タイロシンは腸管内における毒素を吸着する。
- c スルファサラジンはドパミン神経の抑制により腸管運動を抑制する。
- d ベルベリンはセロトニン神経の刺激により腸管運動を抑制する。
- e ロペラミドは μ_2 オピオイド受容体の刺激により水分の分泌を抑制する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問3 副腎皮質機能低下症（アジソン病）の治療薬はどれか。

- 1. フルドロコルチゾン
- 2. メチマゾール
- 3. レボチロキシシン
- 4. シクロスポリン
- 5. トリロスタン

問4 白血球減少症に用いるサイトカインとして適切なのはどれか。

1. エリスロポエチン
2. インターフェロン- γ (IFN- γ)
3. インターロイキン-2 (IL-2)
4. 顆粒球コロニー刺激因子 (G-CSF)
5. 腫瘍壊死因子- α (TNF- α)

問5 牛の骨疾患に関する記述として正しいのはどれか。

- a くる病は成長板の早期閉鎖を特徴とする。
- b ハイエナ病は成長板の軟骨内骨化不全により生じる。
- c フッ素中毒により骨軟化症が生じる。
- d 牛ウイルス性下痢では後天性骨化石症が生じる。
- e 放線菌症では化膿性肉芽腫性骨髓炎が生じる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問6 豚熱にみられる病変・病態として適当なのはどれか。

- a 疣贅性心内膜炎
- b 小脳低形成
- c 脾臓の出血性梗塞
- d 増殖性腸症
- e 虎斑心

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問7 牛のチェディアック・東症候群に関する記述として正しいのはどれか。

- a クローデイン16の欠損により生じる。
- b 黒毛和牛では部分的眼皮膚白皮症を伴う。
- c メラノサイトの細胞質に巨大顆粒が出現する。
- d 尿細管上皮細胞の異常配列を認める。
- e 溶血性貧血がみられる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問8 豚熱に関する記述として適切でないのはどれか。

- 1. 「家畜伝染病予防法」において家畜伝染病に指定されている。
- 2. 2018年以降、我が国で毎年度発生している。
- 3. 病原ウイルスは日本脳炎ウイルスと同じウイルス科に属する。
- 4. 病原ウイルスは主に蚊が媒介する。
- 5. 病原ウイルスは扁桃で増殖する。

問9 「家畜伝染病予防法」で指定されるウイルス性疾患の届出伝染病はどれか。

- a 伝染性膿疱性皮膚炎
- b 萎縮性鼻炎
- c ノゼマ症
- d 犬ジステンパー
- e 兎粘液腫

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問10 犬伝染性肝炎に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 病原体は犬アデノウイルス1型である。
2. 感染肝細胞では核内封入体がみられる。
3. 多くの場合肝臓癌へと進行する。
4. 回復期に角膜混濁（ブルーアイ）がみられる。
5. 犬アデノウイルス2型の生ワクチンが有効である。

問11 伝達性海綿状脳症に関する記述として正しいのはどれか。

1. 牛海綿状脳症（BSE）の潜伏期間は平均7日である。
2. 野生イノシシでは慢性消耗病が知られている。
3. 病原体は正常プリオンタンパク質の構造異性体である。
4. BSE プリオンのヒトへの伝播は否定されている。
5. 猫ではプリオン病が報告されていない。

問12 ウイルス性呼吸器疾患の生ワクチンに利用される変異体として適当なのはどれか。

1. 温度感受性変異体
2. 宿主域変異体
3. 薬剤耐性変異体
4. 中和回避変異体
5. 干渉性欠損変異体

問13 馬伝染性子宮炎に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 多くの場合、妊娠馬の流産によって本疾患が疑われる。
2. グラム陰性桿菌の感染によるものである。
3. ヒトや用具を介した伝播も認められる。
4. 雌馬だけではなく雄馬からも病原体が検出される。
5. 我が国では現在は清浄化されている。

問14 ヨーロッパ腐蛆病に関する記述として正しいのはどれか。

- a 腐蛆が粘稠性を示す。
- b 病原体は運動性を示す。
- c 腸管感染症である。
- d 我が国で発生がある。
- e 予防薬が承認されている。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問15 我が国における鶏のアスペルギルス症に関する記述として正しいのはどれか。

1. 病原体として最も多いのは *Aspergillus flavus* である。
2. 有効な生ワクチンがある。
3. 成鶏の方が若齢鶏より感受性が高い。
4. 肺アスペルギルス症では肉芽腫性気嚢炎がみられる。
5. 組織病変において増殖する無隔菌糸が観察できる。

問16 有鉤条虫 (*Taenia solium*) に関する記述として正しいのはどれか。

- a 自家感染する。
- b 囊尾虫は主に肝臓に寄生する。
- c 頭節に額嘴と鉤はみられない。
- d と畜検査で豚に感染が確認された場合は部分廃棄となる。
- e 主な中間宿主は豚である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問17 トキソプラズマ (*Toxoplasma gondii*) に関する記述として適当なのはどれか。

- a ブラディゾイトは宿主内での増殖速度が速い。
- b 無性生殖および有性生殖のどちらも行う。
- c 成熟オーシストの内部には2つのスポロシストがみられる。
- d 終宿主はヒトである。
- e 寄生細胞内にタキゾイトが充満してシストが形成される。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問18 ストックホルム条約における附属書 A の掲載物質はどれか。

- 1. アスベスト
- 2. クロロフルオロカーボン (CFC)
- 3. ポリ塩化ジベンゾ-*p*-ジオキシン (PCDD)
- 4. ポリ塩化ビフェニル (PCB)
- 5. メチル水銀

問19 「水質汚濁防止法」が規定する一律排水基準において検出されないこととされている項目はどれか。

1. アルキル水銀化合物
2. 大腸菌
3. ヒ素およびその化合物
4. シアン化合物
5. ジクロロメタン

問20 巻貝（イボニシ）の雄性化を引き起こす化学物質はどれか。

1. サリドマイド
2. ジクロロジフェニルトリクロロエタン（DDT）
3. ベンゾ[a]ピレン
4. ジエチルスチルベストロール（DES）
5. トリブチルスズ

問21 食品内毒素型食中毒を引き起こす病原細菌はどれか。

- a 赤痢菌
- b 腸炎ビブリオ
- c 黄色ブドウ球菌
- d セレウス菌
- e ウェルシュ菌

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問22 糞便系大腸菌群を分離する培養温度はどれか。

1. 50.0℃
2. 47.5℃
3. 44.5℃
4. 42.0℃
5. 37.5℃

問23 「食品衛生法」に基づく食品・添加物の規格基準において玄米および精米の成分規格項目として定められている重金属元素はどれか。

1. 鉛
2. 水銀
3. ヒ素
4. 銅
5. カドミウム

問24 「乳及び乳製品の成分規格等に関する命令（省令）」で規定されている牛乳の細菌数測定で用いられるのはどれか。

1. 標準寒天培地
2. 塗抹針
3. BGLB 発酵管
4. EMB 寒天培地
5. レサズリン液

問25 ヒトのレプトスピラ症に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 川遊びや河川での労働で感染する。
2. 血清型を同定する診断方法として顕微鏡下凝集試験（MAT）がある。
3. 我が国では沖縄県からの届出が多い。
4. 病原体はグラム陰性細菌である。
5. 保菌動物の糞便中に多く含まれる病原体が感染源となる。

問26 水によって媒介されるヒトの感染症でないのはどれか。

1. エルシニア症
2. クリプトスポリジウム症
3. カンピロバクター症
4. 鼻疽
5. A型肝炎

問27 「食品表示法」に基づき義務表示となっている特定原材料はどれか。

1. くるみ
2. キウイフルーツ
3. アーモンド
4. オレンジ
5. りんご

問28 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）」が指定する特定外来生物ではあるが同法の許可がなくても当分の間、観賞目的で飼養できるのはどれか。

1. ハクビシン
2. アライグマ
3. アカミミガメ（ミドリガメ）
4. ウシガエル
5. ブルーギル

問29 コウモリ由来人獣共通感染症でないのはどれか。

1. 狂犬病
2. ニパウイルス感染症
3. ヘンドラウイルス感染症
4. マールブルグ病
5. ハンタウイルス肺症候群

問30 我が国で猫からヒトへ感染した人獣共通感染症として報告がないのはどれか。

1. 猫ひっかき病
2. カプノサイトファーガ感染症
3. ブルセラ症
4. トキソプラズマ症
5. 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

問31 酸性雨に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 一般的に pH が 7.0 より低い降水をいう。
2. 主な原因物質は硫酸および硝酸である。
3. 化石燃料の燃焼が発生に寄与する。
4. 2022 年モニタリングの結果、我が国の降水は酸性化した状態にある。
5. 金属やコンクリートの腐食により文化財や建築物に被害が生じている。

問32 罹患個体のうち検査で正しく陽性となる個体の割合を示すのはどれか。

1. 陽性反応的中度
2. 特異度
3. 敏感度
4. 陰性反応的中度
5. 有病率

問33 データの誤差に関する記述として正しいのはどれか。

1. 偶然誤差は調査数を増やすことで大きくなる。
2. 偶然誤差は一定の方向性を持って結果を歪める。
3. 系統誤差（バイアス）は調査数を増やすことで除去できる。
4. 系統誤差は研究計画時に考慮して対象の選定を行う必要がある。
5. 系統誤差は因果関係の推定には影響しない。

問34 発生率に関する記述として適切なのはどれか。

- a 観察時点において観察集団に占める罹患個体の割合である。
- b 分母に時間の要素を含まない。
- c 観察期間内にどれだけ新しい罹患個体が発生したかを表す指標である。
- d 人-年法を用いて計算する。
- e 累積罹患率と同義である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問35 乳牛の代謝プロファイルにおけるエネルギー代謝指標はどれか。

- a 尿素窒素
- b アルブミン
- c 血糖
- d 総コレステロール
- e カルシウム

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問36 粘膜消毒に適した消毒薬はどれか。

- 1. グルタラール
- 2. ホルマリン
- 3. 生石灰
- 4. フェノール
- 5. 塩化ベンザルコニウム

問37 家畜では豚の感受性が高く、罹患動物に繁殖障害を引き起こすマイコトキシン（カビ毒）はどれか。

1. パツリン
2. ゼアラレノン
3. アフラトキシン B₁
4. フモニシン
5. デオキシニバレノール

問38 飼料が含有している栄養成分の有効な利用の促進の用途に供する目的で飼料添加物として使用できるのはどれか。

1. 抗酸化剤
2. 防カビ剤
3. 抗生物質
4. 色素
5. 乳化剤

問39 犬で非再生性貧血を示す疾患・病態として適切なのはどれか。

- a タマネギ中毒
- b 低リン血症
- c 鉄欠乏
- d 甲状腺機能低下症
- e 先天性メトヘモグロビン血症

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問40 犬の脱毛症 X に関する記述として適切なのはどれか。

1. 肢端部を中心とした脱毛がみられる。
2. 強い搔痒が特徴的である。
3. 非炎症性の疾患である。
4. 去勢や不妊手術が誘因となる。
5. コルチコステロイド製剤で治療する。

問41 僧帽弁閉鎖不全症の心雑音が生じる心電図上の時相として最も適当なのはどれか。

1. P 波の開始から QRS 群の開始まで
2. QRS 群の開始直後から QRS 群の終了まで
3. QRS 群の開始直後から T 波の終了まで
4. T 波の開始から T 波の終了まで
5. T 波の終了から P 波の開始まで

問42 全身性高血圧の原因疾患として誤っているのはどれか。

1. 肥大型心筋症
2. 慢性腎臓病
3. 原発性アルドステロン症
4. 甲状腺機能亢進症
5. 褐色細胞腫

問43 犬の過粘稠度症候群の原因疾患として適当なのはどれか。

- a 多発性骨髄腫
- b 慢性腎臓病
- c 赤芽球癆
- d 血管肉腫
- e アイゼンメンガー症候群

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問44 犬の血管輪異常に関する記述として適当なのはどれか。

- 1. 後天的に食道狭窄を引き起こす。
- 2. 食道壁内の血管異常が原因となる。
- 3. 頸部食道の狭窄が典型的である。
- 4. 臨床徴候が離乳期から始まるのが特徴的である。
- 5. 治療の第一選択はバルーン拡張術である。

問45 犬パルボウイルス感染症に関する記述として誤っているのはどれか。

- 1. 糞便を介して伝播する。
- 2. ウイルスは環境中で5か月以上感染性を保持する。
- 3. 白血球増加症が特徴的である。
- 4. 治療の主体は対症療法である。
- 5. ワクチンで予防可能である。

問46 犬の原発性免疫介在性血小板減少症に関する記述として適当なのはどれか。

1. 主に1歳以下の若齢で発症する。
2. 凝固亢進に伴う消費亢進により血小板が減少する。
3. 活性化トロンボプラスチン時間の延長が特徴的である。
4. 巨大血小板が認められる。
5. 免疫抑制療法による寛解率は約10%と低い。

問47 猫の原発性アルドステロン症に関する記述として正しいのはどれか。

1. 若齢猫に多い。
2. 低クロール血症が認められる。
3. 高カリウム血症が認められる。
4. 両側の副腎萎縮が特徴的である。
5. スピロノラクトンが治療に用いられる。

問48 犬の免疫介在性（特発性）多発性関節炎に関する記述として最も適切なのはどれか。

1. 全身性の発熱がみられる。
2. 関節の骨および軟骨の変形を伴う。
3. 関節液中のリンパ球が増加する。
4. リウマチ因子の陽性が確定診断に必要となる。
5. 生存期間中央値は1年に満たない。

問49 猫の糖尿病に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 肥満が発症の危険因子となる。
2. 低張尿がみられる。
3. 血中フルクトサミン濃度が増加する。
4. 高タンパク・低炭水化物食の給与が推奨される。
5. 末梢神経障害は血糖管理により改善する。

問50 猫ヘモプラズマ症およびその病原体に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 重複感染すると重症化する。
2. 再生性貧血が認められる。
3. 赤血球表面に寄生する。
4. アミノグリコシド系抗菌薬が有効である。
5. 治療後に不顕性キャリアになることがある。

問51 猫の特発性膀胱炎に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 発症年齢のピークは2～6歳である。
2. 肥満はリスク因子となる。
3. 排尿痛がみられる。
4. 適切に治療しなければ徐々に悪化する。
5. 再発予防のために飲水量を増加させる。

問52 猫の排泄に関する問題行動の記述として正しいのはどれか。

1. スプレー行動は未去勢雄にしか見られない。
2. 不適切な排泄の問題行動は若齢の雄に特に多い。
3. トイレを使わない主な原因は身体的問題とトイレの環境にある。
4. 排泄問題に薬物療法は効果がない。
5. 排泄を失敗した場所は、反省を促すため排泄物の臭いを残す。

問53 第四胃捻転の牛に投与すべき輸液剤として最も適当なのはどれか。

1. カルシウム液
2. ブドウ糖液
3. キシリトール液
4. 炭酸水素ナトリウム液
5. 生理食塩液

問54 ビタミン A 過剰により生じる牛の疾病はどれか。

1. 夜盲症
2. 大脳皮質壊死症
3. 骨軟化症
4. ハイエナ病
5. くる病

問55 牛の第一胃アシドーシスに関する記述として適切なのはどれか。

- a 第一胃内のグラム陰性菌が死滅してエンドトキシンが放出される。
- b 急性のアシドーシスでは第一胃内の酢酸が増加する。
- c 第一胃粘膜の損傷により重度の貧血が認められる。
- d 治療には消泡剤の経口投与が有効である。
- e 予防として濃厚飼料の多給を避ける。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問56 牛の白筋症に関する記述として適切なのはどれか。

- 1. ビタミンEおよびコバルトの欠乏により発生する。
- 2. 骨格筋型では起立不能などの運動器障害が起こる前に発熱を認める。
- 3. 血中CK、AST、LDH 活性値の測定が診断に有用である。
- 4. 心筋型は早期治療により予後良好である。
- 5. 生後24時間以内の初乳給与で予防できる。

問57 X線検査において呼気時にのみ異常が認められる疾患として最も適切なのはどれか。

- 1. 軟口蓋過長症
- 2. 咽頭虚脱
- 3. 気管支軟化症
- 4. 胸膜炎
- 5. 気胸

問58 超音波検査で無エコー源性に描出されるのはどれか。

1. 肺水腫
2. 肺気腫
3. 脂肪腫
4. 脂肪肝
5. 肝嚢胞

問59 開放性骨折に関する記述として適当なのはどれか。

- a 複雑骨折ともいう。
- b 徹底的な洗浄と壊死組織の除去を行う。
- c 感染領域の骨欠損部には皮質骨移植を行う。
- d 軟部組織の血行があれば骨組織への血行温存は必要ない。
- e 患部の感染が制御されるまでは固定しない。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問60 前庭障害の臨床徴候として適当なのはどれか。

- a 捻転斜頸
- b 視覚障害
- c 企図振戦
- d てんかん発作
- e 眼振

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問61 犬の脊髄梗塞に関する記述として適当なのはどれか。

- a 線維軟骨塞栓症が主な原因となる。
- b 急性に発症する。
- c 発症後進行性に悪化する。
- d 顕著な疼痛を示す。
- e 診断には CT 検査が最も有用である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問62 犬の上皮小体腫瘍切除後に好発する合併症の治療として適当なのはどれか。

- a グルコースの投与
- b 生理食塩液の投与
- c ビタミン D 製剤の投与
- d カルシウム製剤の投与
- e 甲状腺ホルモン剤の投与

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問63 犬の肘関節形成不全に含まれる病態はどれか。

- a 肘突起癒合不全
- b 上腕骨外側上顆骨折
- c 先天性肘関節脱臼
- d 橈骨頭脱臼
- e 内側鉤状突起離断（分離）

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問64 犬の上腕骨外側アプローチの際、損傷するとナックリングを生じるのはどれか。

1. 正中神経
2. 橈骨神経
3. 尺骨神経
4. 迷走神経
5. 筋皮神経

問65 猫の巨大結腸症に関する記述として最も適当なのはどれか。

1. 大腸腫瘍が主な原因である。
2. 慢性経過により結腸無力症となる。
3. 診断には超音波検査が有効である。
4. 治療として切除するのは結腸全長の50%を上限とする。
5. 予防として止瀉薬が有効である。

問66 犬の脂肪腫に関する記述として適切なのはどれか。

1. 若齢の小型犬に多い。
2. 発生部位や大きさにかかわらず臨床徴候を示さない。
3. 辺縁部切除で摘出可能である。
4. 放置すると悪性転化する。
5. ワクチン接種が原因となる。

問67 胃拡張捻転症候群の重症例で低血圧が生じる原因として適当でないのはどれか。

1. 嘔吐による脱水
2. 静脈還流の低下
3. 敗血症性ショック
4. 不整脈
5. 心筋虚血

問68 全耳道切除術において特に損傷に注意すべき神経はどれか。

1. 反回神経
2. 三叉神経
3. 迷走神経
4. 顔面神経
5. 舌下神経

問69 馬において内視鏡検査が最も診断に有用なのはどれか。

1. 寄生虫性動脈瘤
2. 喉嚢真菌症
3. 水胸症
4. 腹膜炎
5. 腸重積

問70 馬の胃潰瘍に関する記述として適切なのはどれか。

- a 運動とは無関係に発症する。
- b 子馬よりも成馬の方が重症化しやすい。
- c 腺部よりも無腺部に好発する。
- d 確定診断には内視鏡検査を行う。
- e 治療には非ステロイド系抗炎症薬が有効である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問71 牛の尿腔に関する記述として適切なのはどれか。

- a 肥満傾向の未経産牛で発生が多い。
- b 特定の品種で高率に発症する。
- c 強い怒責を繰り返す。
- d 長期化すると子宮頸管炎を併発する。
- e 交配前の腔洗浄で受胎可能となる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問72 雄の夏季不妊症に関する記述として適切なのはどれか。

- a 牛や豚で見られる。
- b 造精機能には影響がない。
- c 血中テストステロン濃度の測定が診断に有用である。
- d 性腺刺激ホルモン放出ホルモンで治療する。
- e 繰り返すと生殖器に炎症や組織の癒着が生じる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問73 牛の子宮内膜炎に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 経腔的に細菌感染することで発症する。
2. 腔検査や子宮洗浄液を用いて診断する。
3. 発情期における頸管粘液の pH は正常牛より低くなる。
4. 治療として子宮内にポビドンヨード液を注入する。
5. 機能性黄体を有する場合には PGF_{2a} の投与が有効である。

問74 豚の発情と妊娠に関する記述として正しいのはどれか。

1. 季節繁殖動物である。
2. 1 発情周期の長さは平均 32 日である。
3. 発情持続時間は平均 50 時間である。
4. 排卵は LH サージから 10～15 時間後に起こる。
5. 平均妊娠期間は 90 日である。

問75 ウサギの特性として正しいのはどれか。

- a 乳頭は 1 対である。
- b 自然排卵動物である。
- c 偽好酸球を持つ。
- d マクロライド系抗菌薬の経口投与は合併症を生じる。
- e サリドマイドに感受性がない。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問76 げっ歯類の外科的処置の際に適切な全身麻酔薬はどれか。

- a ペントバルビタール
- b エーテル
- c アバチン（トリブプロモエタノール）
- d ケタミン+アセプロマジン
- e イソフルラン

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問77 魚類の寄生虫病と特徴的な病変の組合せとして適当なのはどれか。

- | 疾患 | 病変 |
|----------------------|---------------|
| 1. コイのダクチロギルス症 | 体側筋にシスト形成 |
| 2. カンパチのパラデオンタシリックス症 | 虫卵による鰓弁の血管の閉塞 |
| 3. ブリのベネデニア症 | 腹部の膨満 |
| 4. マダイのロンギコラム症 | 鰓の貧血 |
| 5. トラフグのカリグス症 | 鰓弁の棍棒化 |

問78 魚類のノカルジア症に関する記述として正しいのはどれか。

- a サケ科魚類に特有の感染症である。
- b 原因菌は弱抗酸性である。
- c 体表に膨隆患部が形成される。
- d 我が国での発生報告はない。
- e 有効な治療法はない。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問79 サケ科魚類の伝染性造血器壊死症の特徴的な症候はどれか。

1. 筋節に沿ったV字状出血
2. 脊椎側湾
3. 鰓の褪色・びらん
4. 頭部の白色腫瘤形成
5. 眼球の白濁

問80 ブリに多くのカタクチイワシの生餌を含む飼料を連続給餌すると起こる疾患はどれか。

1. ビタミンA欠乏症
2. ビタミンB₁欠乏症
3. ビタミンC欠乏症
4. ビタミンD欠乏症
5. ビタミンE欠乏症

